

## Ⅱ—11 まちづくりについての自由意見

### 1 自由意見の概要

旭川市のまちづくりについて、御意見・御提案を自由に記入してください。

#### (1) 記入者の内訳

アンケートの最後に、旭川市のまちづくりについての意見や提案を求めた。

回答者1,691人のうち、577人(34.1%)が意見を記入した。

性別で見ると、男性は回答者733人のうち232人(31.7%)、女性は回答者938人のうち339人(36.1%)が意見を記入している。

年齢層別にみると、30～39歳が45.9%と最も高く、次いで50～59歳(40.0%)、18～19歳(38.9%)の順となっている。

#### 【記入者の内訳】(性別, 年齢層別)

性別 年齢層	男性			女性			無回答(性別不詳)			合計		
	回答者 (人)	記入者 (人)	記入率 (%)	回答者 (人)	記入者 (人)	記入率 (%)	回答者 (人)	記入者 (人)	記入率 (%)	回答者 (人)	記入者 (人)	記入率 (%)
18～19歳	5	2	40.0	13	5	38.5	-	-	-	18	7	38.9
20～29歳	37	11	29.7	62	25	40.3	-	-	-	99	36	36.4
30～39歳	66	29	43.9	90	43	47.8	1	0	0.0	157	72	45.9
40～49歳	114	41	36.0	134	54	40.3	2	1	50.0	250	96	38.4
50～59歳	111	47	42.3	148	56	37.8	1	1	100.0	260	104	40.0
60～64歳	68	24	35.3	76	28	36.8	-	-	-	144	52	36.1
65～69歳	87	20	23.0	89	34	38.2	3	1	33.3	179	55	30.7
70～74歳	91	17	18.7	123	31	25.2	5	2	40.0	219	50	22.8
75歳以上	152	41	27.0	200	62	31.0	5	1	20.0	357	104	29.1
無回答	2	0	0.0	3	1	33.3	3	0	0.0	8	1	12.5
合計	733	232	31.7	938	339	36.1	20	6	30.0	1,691	577	34.1

#### (2) 意見・提案の内訳

意見・提案については、一人が複数の内容を記入している場合があり、それらを項目別に集計すると、773件となった。

ただ、記入者577名のうち5名が「特になし」と回答していたため、「特になし」の回答を除いたところ、572名の記入者から768件の回答が得られた。

572名の記入者に対する意見数の割合を分野別にみると、「都市機能, 環境, 安全・安心」に関することが192件(33.6%), 「産業, 観光」に関することが180件(31.5%), 「子育て, 保健・医療・福祉, 教育, 文化・スポーツ」に関することが168件(29.4%), 「まちづくり」に関することが133件(23.3%)の順となっている。

また、「新型コロナウイルス感染症」に関することが33件(5.8%)となっている。

各分野で見ると、「子育て、保健・医療・福祉、教育、文化・スポーツ」の中では「(7) 社会で自立して生きていく力を培う教育の推進」に関すること（64件，11.2%）、「産業、観光」の中では「(15) まちの活性化と公共交通網の充実」に関すること（102件，17.8%）、「都市機能、環境、安全・安心」の中では「(19) 暮らしやすい都市環境の充実」に関すること（127件，22.2%）「まちづくり」の中では「(25) 市民主体のまちづくりの推進」に関すること（56件，9.8%）が最も高い割合を示している。

## 【分野・分類の内訳】

N=572[複数回答(「無回答」「特になし」等を除く。)]

分野	分類	意見数 (件)	構成比 (%)
子育て、保健・医療・福祉、 教育、文化・スポーツ	(1)妊娠・出産・子育てに関する支援の充実	19	3.3
	(2)子育て環境の充実	9	1.6
	(3)市民の主体的な健康づくりと安心な医療の推進	2	0.3
	(4)安全な衛生環境の確保	1	0.2
	(5)適切な福祉サービスの提供	35	6.1
	(6)互いに支え合う地域福祉の充実	4	0.7
	(7)社会で自立して生きていく力を培う教育の推進	64	11.2
	(8)安全・安心な教育環境の整備	7	1.2
	(9)家庭や地域とともにある学校づくりの推進	5	0.9
	(10)生涯を通じた学びの振興	2	0.3
	(11)個性豊かな北国らしい文化の振興	10	1.7
	(12)スポーツ・レクリエーションの振興	10	1.7
産業、観光	(13)魅力の活用、発信と競争力の強化	28	4.9
	(14)地域産業の持続的発展	20	3.5
	(15)まちの活性化と公共交通網の充実	102	17.8
	(16)四季を通じた観光の振興	26	4.5
	(17)多様な交流と国際化の推進	4	0.7
都市機能、環境、安全・安心	(18)市民生活を支える都市機能の維持	43	7.5
	(19)暮らしやすい都市環境の充実	127	22.2
	(20)自然共生社会の形成	2	0.3
	(21)循環型社会の形成	8	1.4
	(22)低炭素社会の形成	1	0.2
	(23)危機対応力の強化	5	0.9
	(24)交通安全と防犯体制の充実	6	1.0
まちづくり	(25)市民主体のまちづくりの推進	56	9.8
	(26)地域主体のまちづくりの推進	11	1.9
	(27)男女共同参画社会の形成	2	0.3
	(28)広域自治体ネットワークの強化	1	0.2
	(29)信頼に応える市政の推進	49	8.6
	(30)効率的で効果的な行政運営の推進	14	2.4
新型コロナウイルス感染症		33	5.8
その他		62	10.8

## 2 意見・提案

意見・提案の一部を、要約などして掲載しています。

### (1) 子育て, 保健・医療・福祉, 教育, 文化・スポーツ (168件)

- ・子どものいじめをなくすために、教育委員会・学校・家庭が緊密に連携できる環境を日常的に整えて、市は、未然に防止できるよう積極的に対策をとること。もし、事件が発生したら責任を明確にして、逃げずに迅速に対処すること。【男性, 65～69歳】
- ・最近はバレーボールチームのヴォレアスが地域の活性化にも力を入れて活動していると思う。旭川市がチームをバックアップし、ヴォレアスと共にまちづくりを盛り上げてくれたらと思う。【女性, 40～49歳】

### (2) 産業, 観光 (180件)

- ・ユネスコのデザイン都市に加盟したが、家具関係以外はあまり活動を感じない。デザインやアートは若い世代を呼び、高齢者にも優しい活動ができると思うので、もっと積極的に活用したらよいと思う。【男性, 30～39歳】
- ・中心市街地にもデパートがなく、買い物は札幌まで行くことがある。地元でお金が使え、もっと景気が良く、活気ある旭川にしてほしい。【女性, 60～64歳】
- ・旭川は川の町として堤防が多く、サイクリングロードもかなり整備されているので、近隣自治体と協力して更に自転車コース整備を進め、自転車の町として町おこしをしてはどうか。コロナ禍でアウトドア人口が増えているし、もともとある程度整備されているので、それほど費用はかけないでできると思う。【男性, 40～49歳】

### (3) 都市機能, 環境, 安全・安心 (192件)

- ・冬季の除排雪が十分に行き届いていないと感じている。それにより車線の減少や道路状況の悪化を招き、事故につながる可能性があると感じる。【女性, 20～29歳】
- ・地域にあったスーパーがなくなってしまい、車に乗れない世代の人たちが普段の買い物に困っていることが多いと思う。空いてしまった建物の有効利用に市としても力を入れて高齢者に優しい旭川市をつくってほしい。【男性, 50～59歳】

- ・コロナ禍を経てシェアリングエコノミーが浸透してきているように思う。自然豊かな旭川に住んでみたい人もいると思うので、こういった方々が一時的にでも気軽にシェアできる住居があると少し活気が出るのではないかと思う。【女性， 50～59歳】

#### (4) まちづくり (133件)

- ・高齢者はインターネットの利用が難しいと思うので紙面での情報発信は絶対に継続する必要があると思う。若者向けにはSNSでの発信が適しているのではないかと思う。【女性， 30～39歳】
- ・市民向けの周知・報告等の手段として広報やホームページが利用されているが、今後は更なるホームページの充実を望む。【女性， 75歳以上】
- ・まちづくりや地方創生についてアイデアを持つ若い世代の人が集まり、活発に議論し、それをソーシャルネットを通じて市の内外に幅広く発信することで、更に市民にまちづくりへの関心を持ってもらう取組が必要。【男性， 20～29歳】
- ・行動力ある若者が、力強く行動できる街にしてほしい。【女性， 70～74歳】

#### (5) 新型コロナウイルス感染症 (33件)

- ・クラスターの詳細情報を発表してほしい。自分がその場所に行ったかどうかを確認できる方が大切だと思う。【男性， 50～59歳】